

毎月一回十五日發行（定價一部五錢一年郵稅共五十錢）



編輯所 發行所 印刷所  
香野上野 山田 清市 和野  
市 市 市 市  
田 田 田 田  
上 上 上 上  
野 野 野 野  
千 千 千 千  
野 野 野 野  
中 中 中 中

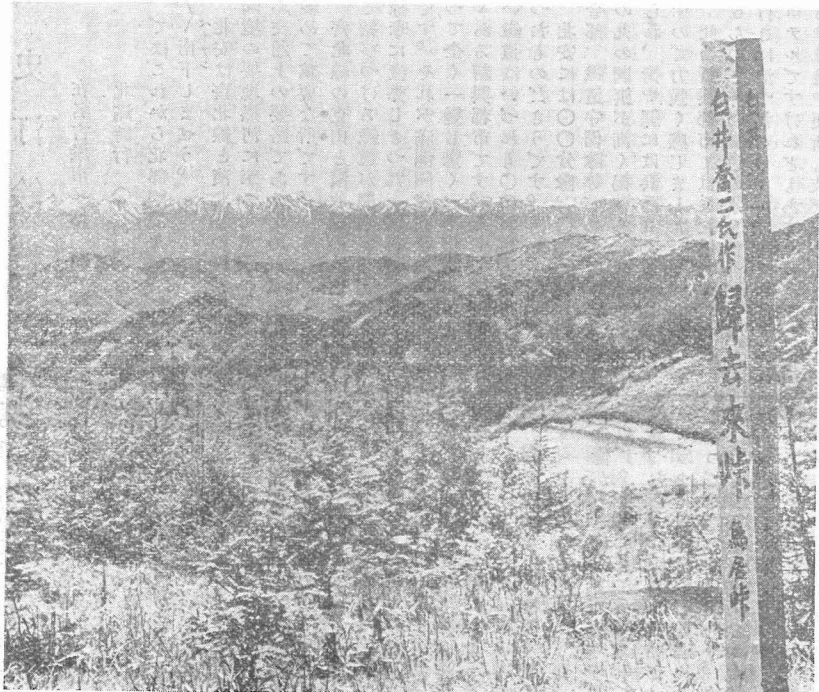
### 纖維國策と蠶絲業

杜 峯 生

纖維は吾人の衣服に生活に必要缺くべからざるものであつて従つて國として國に於ける臨急施設に万全を得るやう適當の衣料に關心を持たねばならぬ事は勿

秋色漸く深し（鳥居峠頂上）

上田温泉電軌會社撮影



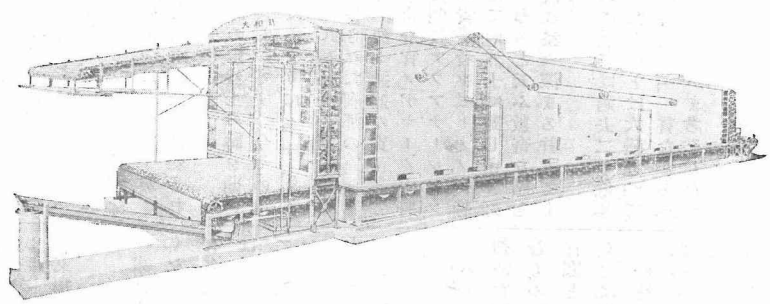
最近唱へられる纖維國策なるものは濠洲羊毛問題に刺戟され新興人造纖維工業の隆盛に力を得てこれに拍車をかけられてゐるが、つと以前から、少くとも歐

ばならなかつた問題ではないか。然しとなく最近の情勢が頗る纖維國策を必要とする様に政府及國民が多額の關心を持つ事になつたのは喜ばしい現象である。商工省の原料策に於ても化學、機械に伍して、纖維を擧げて居る。民間に於ては一時の犠牲を拂つても濠毛の不買統制を計るとか、ステープル・ファイバーの銳意増産利用を講ずる等國策に準ずる精進を續けてゐる。現代の如き貿易鎖國主義傾向を多分に持つた國際情勢に於ては格別にも、一國として整然たる統制下に永遠の國策を持して邁進しなければ國民の生活にも國の經濟にも何時かは憂き目を見なければならぬ事になる。

轉つて考へれば本邦先祖よりの遺業たる蠶絲業についても舊態を維持して晏如たること能はざるものがある。斯う云ふ纖維界の非常時こそ絶好の刺戟であり、起死回生の妙薬でもある。日本生絲の七割が米國へ向けられるのと濠洲羊毛の大部分が日本に向けられるのと何處に異なりあるか、やがては取引に敏感な米國が今次の濠毛問題の類を踏まぬ事もない。事實米國に入る支那絲、伊太利絲の増加と日本絲の減少とを數字の上に見せられてゐるではないか。將來何時迄も米國向生絲生産のみ没頭してゐてよいものか。いつ何時新たなる滞貨生絲を太平洋に捨てねばならぬ破目に至らんとし兼ねぬ。

調節も出来ないであらうし、技術の進歩と生産費の低減と正比例するやうな利點もない。この蠶絲業に國として未だ眞の積極的對策が實施せられないのを遺憾とする。國民としても今日その覺悟が未だ足りてゐないではないか。蠶絲は我國に於ける唯一の天恵衣料である。これをもつと廉價に手易く有用ならしめる工夫をして一般向にし、他の纖維と融和して共存共榮の實を擧げしめなければならぬ。進み過ぎの統制、誤つた庇護をして變哲なものに仕上げ終つては策の得たものと云へない。人絹良しステープル御座れ、羊毛良し、諸軍を引率し先頭に立つて纖維國策のために奮進しなければならぬ。徒らに排他的獨尊の方策を以つて臨むべきではないのである。

### 現代乾繭機界ノ王座 大和式自動輸送乾繭機



二五九六年代表型

【各種型録贈呈】

製作發賣元 株式會社 大和三光商會

東京京橋區京橋三丁目二番地 電話京橋(56)五三二〇番

營業課目  
特許大和式自動輸送乾繭機  
特許大和式自動人絹乾燥機  
特許帶川三光式乾燥機  
特許やまざ式淨水裝置  
特許サンコー式廢湯吸器  
特許サンコー式高壓ポンプ  
特許サンコー式ト

史汀餘稿

在名古屋市 草野史郎

北滿詩行 (其の四)

ではこれから北部國境を離れてそそぐ南下しませう。

北安は齊北線と濱北線の接續點で且つ國境の要地黒河に至る北黒線の基點と云ふ交通上の要路である爲め軍事上經濟上極めて重要な所です。

齊北線の克山と濱北線の海倫とをこゝで結びつける鐵道が開通する迄は兵匪の掠奪に疲弊しきつた一寒村であつたさうです。それが滿洲國建設後鐵道開通によつて全く一變し驚くべき勢を以て伸びつゝある新興都市です。そして之等の新しい鐵道はいづれも〇〇が事變後早急に作つたものさうです。

北安には〇〇分隊、〇〇本部、〇〇司令部、鐵道守備隊等があつて到る處に日の丸の國旗が高く掲げられてゐるのが見られ、街や驛には兵隊さんが澤山居りますので力強く感じました。

此の新興都市ではまだ水道が完成してないので赤い鐵色の水を使つてゐます。行きに泊つたホテルは北安で一番大きいホテルですけれどもあまり待遇も氣に入らず風呂や便所も支那式で水も悪く、それに後で聞けばあまり感心しませんので歸りには別のホテルに投じました。そのホテルは風呂の水までも濾過して使ふことを誇りにしてゐます。成程程キレイな水で勿体ないやうな氣がしました。それに浴槽も日本式でしたので大變い、感じがしました。やはり日本人には旅行中の慰安は風呂が第一ですね。

北滿の地安かれの旗笑顔

北安から濱北線で哈爾濱に向つて南下します。北安から百六軒を二時間四十分かゝつて走りますと海倫に着きます。

こゝは例の馬占山が一時假政府を置いた所です。

馬占山討伐については皇軍は随分各所で苦心をなされたさうですが、然し吾々には馬占山に關する限り何だかへんな思ひがありますね。

ハイランは人口四万ばかりの純支那街です。私は某所で夕飯をつた時飛んだナンセンスを演じたといふのはハイツであるのにハイランといふので

す。兎も角私には滿洲語がよく解らず先方は日本語が話せませんのでヘンな場面を展じました。が用件がすんだ後で片言交りに話したり聞いたりしてゐる中に「海倫には日本人は少いが貴殿は海倫に居るのか？」といふ意味であることが解り大笑ひをしました。

獨逸人の部屋をノックしたら中から「ライオン」といつたのが「ヘレン」ハイレンと聞いた話がありますが、それにも似てとかく言葉が通じないと變な間違が起るものです。

もつと詳しく話せとおつしやるので「か？」いや然しよませう。又例のストツプが……

海倫へ来るまでに久し振りに車窓に農耕の活繪が展げられ趣つたやうな氣がしました。

海倫から哈爾濱まで約六時間一走りします。此の間車窓の眺は今までとは全然異つた新しい眼界が展開されます。といふのは北興安嶺の山麓延長地帯でありますので丘陵あり、川あり、沼池ありといつた風で地味はキレイに耕されてゐます。

汽車が通過しますと人も馬も仕事の手を休めて珍しさに眺めてゐます。日が暮れてモウ薄暗くなつて彼等はまた歸らうとしなう一生懸命に働いてゐます。それも日本のやうに家が近ければいゝですが、汽車がいくら走つてもなかなか人家は見つからないのです。眼の届く限り綺麗な耕地なんです。それから彼等が歸るのだからなんて私はいらざる心配までして見てゐました。

仕事をやめて人も馬も汽車を見る

たまたま人家の近くを汽車が走ると豚公が大騒ぎをして滑稽です。此の邊の豚は眞黒で毛の長いとて大きな奴でまるで熊のやうです。

大公も汽車と競走する積りか一生懸命に汽車と並んで走ります。

犬で思ひ出しました。が蒙古犬は實にいいですね。私は犬がとても好きなんです。蒙古犬と来た日にやあたまりません。あの大きな體軀で後ろ足を斜に踏ん張つて、房々とした大きな尾をピンと伸ばし、兩耳を鋭くたて、何物かを睨つてゐるあの姿は實にいいですね。シェパード

など比較になりませんよ。その蒙古犬が、鎌のやうな寒月の下に牙をむきながら戦に躍れた屍体に群がって伸びるその姿、一匹が遠くはなれて月に吠えるその聲……を御想像下さい。

寒月に吠える姿や蒙古犬

三棵樹駅から松花江を渡つて愈々哈爾濱に入るのです。その松花江にかけた鐵橋は長さ一千四百米、滿洲國一の新式工事として自慢のものさうです。何しろ三段になつて居つて一番上が人道、中が汽車、下段を電車が行つてゐるのです。

私がハルビンに着いたのは日の暮れつたので非常に嬉しくもまた有難く感じました。林兄はもう見忘れて居られました。私は學生の時置の御手傳ひをしたりしたのはつきり憶えて居りました。汽車が着くと窓からもうすぐ兄の姿を見付けました。

ホテルに入つて改めて久淵を陳べ、今日御厚意を謝しました。其夜は林兄は非常に御忙しく先約があるといふので明日を約してお別れしました。

ハルビンの驛頭二十年前の握手哉

哈爾濱に来て第一に嬉しかつた事は水道の水にありつたこととす。死んでも生水を飲まぬ」と云ふのが彼等の信条である事は前にも申し上げました。テトラパシのファンである私はもう八年間も一日五リツトルの生水を飲む事に習慣づけられてゐるのです。その私と彼等は雲泥東西の開きがあります。それだけに私は今度の旅行に困りました。「北滿で困る事は何んだ？」と問はれたら「生水の飲めない事だ」と私は即答するでせう。

水に不便を感じ苦しみを忍びながらはや二十日餘りを過ぎて哈爾濱へ辿りつた今日、ホテルで始めて水道の水にありつた時の嬉しさは筆には盡せません。

戀人に逢つた時もかくやとなどつまらぬ事まで思ひ浮べました。尤も此處でも水道は舊市街の方ではまだ完備しないさうですがね。

久し振りに生水を飲み水道の水の風呂に入つた時は全く蘇生したやうな氣持ちになりました。丁度ハルビン滞在中は雨り曇り曇り雪と寒氣襲来、漸く芽ぐんだ柳や榆も冷蔵庫へアチ込まれて抑制さ

れた形でしたが、その時飲む冷たい生水の味！それはロシア美人を相手にウオッカを飲む時以上でした。全く忘れられないもの一つです。

久し振りにハルビンで知る水の味

翌日午前中は哈爾濱貿易館長に案内されて哈爾濱の主なる所をハイスピードで視察しました。

午後は林兄に案内されて午前中の残り分を視察し見物しました。そしてコーカサスといふレストランでロシア料理を御馳走になりました。針塚校長も此の一月こゝで高麗人の自家醸造になる葡萄酒を賞美されたさうです。

林兄は此の日も御多忙の處を御察し下されたのでした。ハルビンの平日を二人で學生の頃の思出や、母校の最近の事や、同窓の其の後の事を語り合つて過した事も屹度後の思出の種となる事とせう。

白系の露人淋しきモストワヤ

日露戦争を思ふ者には、いや日本の今日、滿洲國の今日を知る者にはハルビンの志士の碑を忘れる事は出来ません。志士の六勇士の英靈を祀つたものですが、碑のある所は沖、横川、中山、田村、松村の所々です。

私は青年の頃、此の兩烈士の話を聞いてよく血を沸かしたものです。今その碑の前に立つて感慨はあまりに多すぎました。而も碑を前にして兩烈士が護送された當時の寫眞や銃殺された利那の寫眞などを見たり、當時兩烈士逮捕の責任者であつた西部鐵路軍司令官メヤヤク中將哈爾濱軍法會議裁判長アファナーシエフ中將、銃殺立會の責任者シモノフ少將が今尚現存してゐて兩烈士に對し色々好意を以て盡されてゐると云ふ驚奇な話を聞いたりして感慨は益々深まる許りでした。

然し碑そのものに就ては過去二十餘年間私が想像してゐたものとは大變違つてゐましたので大に落膽し「一言なかるべからず」の氣が致しますがまあそんな事はよませう。

スナガリーの水も流れて三十年

「ハルビンは世界の共同便所である」

これはロシア人自身が形容した所のハルビンを最も短的に表現した言葉ださうです。

兎も角こゝハルビンは人口五十万を擁して北滿の政治、經濟、文化の中心都市として又東洋のバリーとして特殊の異國情調を持つ國際都市として餘りにも有名です。

夜を徹しての暗黒街の獵奇！一時はハルビンを語るに必須條件の如く云はれた此の夜話時代も今は遠く過去に去られやうとしてゐます。それは滿洲國獨立と共に情勢が一變し北支鐵道讓渡が成立してから一時は「支那人と犬は入るべからず」とまで云つたロシア人の勢力は平和裡に總退却せんとして、今日のハルビンは最早東洋のバリーでもなく、東洋のモスクワでもあり得ないのです。今や全く新興滿洲國の一心臟として躍動しつゝある事が到る所に見受けられます。

支那人と犬入るべからずは過ぎにけり

東洋のバリーでもなくモスクワでもなくなりつゝあるとは云ひながら餘りにも有名なハルビンの夜の街！唯々驚くの外はありません。之が國際都市の特異性でも云ふものでせう。田舎者の内氣な私は寧ろ恐ろしくなりました。その一例を申しますならば……ストツプ……いやよませう。

ハルビンは今(五月廿五日)榆の芽ぐみ初めた頃です。ハルビンを柔い情緒で包むものは榆の綠樹だと云はれてゐます。官廳といひ、民衆といひ、街路といひ悉く之に包まれてゐるのです。

松花江一帯の荒涼たる中の一漁寒村に此の大都市を建設したロシア人は何よりも先きに樹を植ゑることを忘れなかつたものと見えます。

榆の木の色にのぞく赤煉瓦

(つゞく)

(つゞく)

(つゞく)

視察の喜びを頌ちて

A 組

異郷の空気を身心に感じ乍ら三日朝岐... 車中眠れなかつた故か何んとなく疲労を感じました...

て来た事が本當に心強く真直ぐに本願寺... 前なる旅館に落付き、早速京都市染織試... 驗場を見學すべく長い間電車にて漸く...

戴く事になり本當に感謝しました。... 學院長兼校長に學校の様子等種々申し上げ... 又學院の御様子等も御話戴き御親切な御...

の一つでございませう。美しく磨かれた... 廊下を通つて寄宿舍へ。丁度七夕祭の後... にて室々に笹竹の飾れるのがありまして...

又雨がボツ／＼やつて来たので早速車中... にて奈良へ向ひました。舞子、明石を右... に海に入らねば気が済まぬ位強く心引か...



講話とことろ (一)

比喩警句諧集 高島秀男

術の要は相手に話す内容をよく理解させ、相手を倦ませず、自分の主張に共鳴させる事にあると思ふ。それには話す順序、用語、態度等に注意しなければならぬが、就中話の中に警句を入れ、比喩を語り、諧語を交へることが最も効果的である。筆者多年蠶桑指導奨励の局に在りて各地に講話した材料の中から、それ等をヒツクアツツして、書き連ねることとした。

◇スパルタ式

古代ギリシヤの一國にスパルタと云ふ國がありました。國民勇武を以て鳴り、ペロポネソス半島に威を振つたのであります。其の子弟を教育するに頗る厳格でありましたから、今でもスパルタ式の硬教育などと云ふ言葉が使はれて居る位であり又其の教育振りの例話が色々傳へられて居りますが、その一つにこんな話があります。

一人の少年が初陣に出かける時親から一本の槍を與へられました。處がその槍の柄が短かつたものでした。少年は長柄の槍を要求致しました。すると親は之を叱つて柄が短かすぎるならその短いのだけ二歩でも三歩でも餘計敵の中に踏み込んで使へばよいではないかと訓戒したと云ふことであります。……之は有名な話であります。……私は本日この席に臨んでフトこの話を思ひ出したのであります。と云ふのは先程から司會者が皆さんに前へ出るやうにいらお奨めしても仲々出られませんが皆さんが出られようなら私の方から皆さんの近くへ出ようとするはテールを前進させた次第であります。……吾々の様な指導者が日常營業者を指導するに當つてはこのスパルタ式でゆかなければならぬ場合が多いことを痛感致しますが、營業者諸君も又蠶桑業の不況時に處するにスパルタ式でなければならぬと思ひます。即ち今日の蠶桑業の事情は、曾つてありし一貫十回以上と云うやうな好相場を望むことを許しません。高く賣りたくも買つてくれぬから仕方ない。そこで安くも引合ふやう即ち生産費を軽減すると云ふことが、柄の短い槍を長く使ふのと同じ譯になるの

◇近道

ではありますまいか。さる分別者があつて、何事によらず近道を好みました。ある時一人旅に出たところ途中で尾籠な事ではあるが急いで大便を催して來ました。昔から小便一丁糞八丁と云ふ位で大用に隙がからと餘程の道を損せねばならぬ。何とか歩き乍ら用を便する法はなからうかと色々考へてみましたが小用と違つて大便は合が悪い。とかくする程に益々急になつて來たから仕方なしに路傍の野糞隠に走り込みました。併し糞日中斯うして隙取つて居てはつたらぬ、何んとか工夫がありさうなものと思ひつきました。と云ふのは、時は丁度午食前、行先の茶店で辨當を使へば二重に隙をかけた上茶代もかゝり甚だ以て不經濟であるから斯うして用便をして居る片隙に糞食をとることしようと思ひついたのであります。そこで握飯を取出して糞垂の隙から糞種を遠見しながら食べはじめました。處が氣の毒な事が出来た。……と云ふのは、山崎の大きな奴が糞隠へ飛び込んで大事の所をさしたものだから、驚いて糞を拂ふ拍子に食べかけの握飯を思はず糞へ落して了つたのであります。未練そうに暫く覗き込んで居たこの男はやがて糞手を打つてハ、アこれは近道ぢやと言つて喜んだと云ふこととあります。なる程握飯を噛みこなしで喉へ通し腹に通してそれから後に下へおろすよりも手から直ぐ糞へ落した方が近道に相違ありません。けれど近道は近道でも咽喉を通さぬと食が身になりません。迂遠の様に本街道でなければ近道は役に立たない場合が多いのであります。……之れ鳩翁道話にある話であります。糞糞をするに當り生産費軽減とか經濟的とか言つて無暗に近道をとりたがることは近道の危険があり、藪藪の不潔を招き易いので斯くては握飯を糞へ落して近道だと早合點するのと同様の愚を演じて居るものと謂はねばなりません。

◇朝日は何處から出る

今回各地に遊獵者を出した原因は一體何でありますか？前車の覆るを見て後車の警めとすべきで、この原因を探究して二度と再び失敗を繰返さぬ様に致したいと思ひます。……甲は申します、雨天続きのため日照不足で桑葉が充實しなかつたことが原因であると。乙は申します

蠶種が不良であつたからと。丙は飼育法に缺陷のあつた事を指摘します。丁に至つては、近年營業者が慢心して横着になつたから之を反省せしむべく神罰が下つたのだ等申してあります。果してその何れの説を信ずべきを思ひ出しましたか？之れは、は面白過ぎる話です。……それは、或る山國育ちの人が東京見物に出かけ、宿屋で海邊育ちのお客さんと同宿致しました。そして世間話をして居る内に朝のオ太陽様は東の山の蔭から出ると申しまつた。海邊育ちの人は不審がつて、イヤそれは變だ、朝日は海の中から出る筈だと反對しました。斯くて山から出た、イヤ海からだと互に言ひ争つて居ります。……そへ茶汲みに出た女中が兩者の言ひ分をきいて、それはどちら様の仰言ふことも嘘です。妾が多年この旅館に奉公して研究した所によると、朝のオ太陽は隣家の屋根の蔭から出ますと申したさうでありました。……例へば遺囑と云ふ一つの現象を或は桑、或は蠶種、或は飼育法と論ずる人の立場々々によつて異なるのは丁度この話に似通つて居るではありませんか。

◇根本原理

ある所に馬鹿者が居りました。ゴ飯のあとでオ湯を飲む時熱いのでフー、吹いて冷まさうとすると、ハタとめて居たオ嫁さんがオコッコを一片入れて冷ますことを教へて呉れました。教へられた通りにやつて見ると、なる程直ぐ冷めてラウに飲むことが出来ました。ウチの娘はウマイ事を知つて居るとひどく感心致しました。それから食後オ風呂に入るために、湯が熱くて入れないの、先程のことを思ひ出して「オ嬢や、オコッコ一片持つて來て呉れ」と申したと云ふこととあります。……

◇カリ肥料とカルシウム

窒素、燐酸、加里は肥料の三要素と云つて作物の生育に最も必要な成分であります。燐酸、加里を作るのに窒素肥料はやるのは遺憾であります。先頃某地方にまつてこの話をするとある者が、先生！この地方では皆カリ肥料ですと申しますからヘンだと思つてよく聞いて見ると、硫酸安母ニ亜を借金して買ふからカリ肥料だと云ふのです。現金で買つてもカリ肥料だと云ふのは之れ如何に！借金して買つてもカリ肥料と云ふが如し……三要素の外に石灰も必要なりとして、肥料の四要素と呼ぶこともあり。石灰は直接桑樹の營養分として吸収せられるばかりでなく土壌の酸性を中和したり、不溶解の肥料分を溶解性としたり、有機質の分解を早めたりします。而も石灰をやるの分は蠶兒を強壯にし、藪藪を向う上すると言はれて居ります。石灰を化學上よりむすかしく言へば酸化カルシウムであります。カルシウムと云へば人體にも有効な成分であることに氣付かれませう。近頃はカルシウム療法と云ふものがあり、カルビス、カルケツトからカルシウム煎餅と云ふものまで出來て居ります。特に妊婦がこれを食べれば骨粗や齒の丈夫な子供が生まれると、ある婦人はあまりカルシウムを攝りすぎたため、その子供が親の脈を噛つて困るとこぼして居ります。

泥を吐く

喧嘩の追憶 栗柄超

たう／＼やつてしまつた。知つての通り昔から押し強い男だつたし、人並なぐれたゴタだ。里の方へは尻拭ひを頼むと言つて置いたがまだ何の返事も無い。どうだ、満洲の方にうまい職があるか。君でも近くに居たらきつと應援に來て呉れるだらうと思ふが、遠くて淋しい。君はこんなことはするなよ。呉々も頼む。喧嘩ときたら俺よりも好きな君のことだからな。俺は心配だよ。人を遇するに君子の道を出さうといふふの尻をまくつて飛び出さうといふ魂膽らしく頼りに聲援を求めてゐる。手紙の主は昔、同じ教室で實驗などやつたことがあり深い因縁のある友人である。自分の方に十二分の勝算があるなら堂々とやれと返事をして置いたが、その後は何のたよりも無い。どうなつたのか後日譚がきく度いと思つてゐる。この友人といふのは喧嘩が因で親しくなつた男だけに、又、やつたな。と大いに氣になる。喧嘩といふのは東京から學校に出版して來てゐる現場建築監督を向ふに廻して大いにやつたので少々五月蠅かつた。場所が香青軒であつたし、テールの上には空になつたのが二本ほど並んでゐたので、酒の上の喧嘩といふことになり、相手が文部省のお役人だといふので更に事が面倒だつた。誰かの注進によつて學校に知れ、はやくその翌日散々油をしばられて著くなつた。學生の分際で香青軒に行くことは身分をわきまへぬ沙汰であり、禁を犯してお酒を飲むとは以ての外である——といふのである。大いに恐縮して引き下つた苦い體験から早くも一年が経過した。あの現場監督に依つてつくられた千曲會館やグラスハウスはもう完成して本格的にそれ／＼の機能を發揮してゐることであらう。

(以下五面へ續く)

(四面より續く)

街頭でアッコイオンを奏して哀れを乞ふてゐた盲目のロシア人も何處かへ姿を消してしまつたし、あらゆるものが、あはたしい秋の到来に、そしてまたやがて来るであらう冬に備へて、面目を一新してしまつた。

僕は松花江の畔で満人の喧嘩を見た。何がしかの煙草錢から端を發した苦力の争ひであることが、一緒にゐた通譯の陳君の説明で判つた。

秋らしい淋しい争ひである。滿洲は五族協和の國で喧嘩など夢にも出ない國である。自由な天地に思ふ存分喧嘩の出来る人たちは或る意味に於て幸福なかも知れない。

田舎に出ると毎日朝から晩まで支那料理ばかりで全く油攻めに遭はされた様な氣がして来る。うまい筈の山海の珍味も又か、と言ひ度くなる。

飛筆を以て三度連載の榮を得た「泥を吐く」もそろゝ鼻について来たらし、そのうちに身をひかねばならないことになるのかも知れない。

元來が狐を馬に乗せたやうな、たは言で凡そ意味ない文字の連鎖に過ぎないこの種の漫筆は何時になつたら終るといふあてもない極めてだらしないものである。

同じタイトルを用ふれば宣傳効果は大いにあるが——と編輯子にまで嫌がられ始めた。あの手は決して新しいものではない、昔讀んだ古い翻譯物にもその例を見た記憶がある。

編輯子独自の見解から悪流行視されるのは悲しいことである。

クラス會機關誌「双美」の原稿募集が來てゐる。雑誌「双美」は横澤、宮城兩君が主宰するもので、鮮やかな編輯ぶりを期待し、會員諸君の消息を待望してやまない。

仲秋

### 上田便り

織物生産額減少 上田小縣道一市三

那八月中の織物生産額は前年同月比百八十六點一、千二百五十六圓其他百廿五點八、千六百三十一圓一、千二百五十四圓、前年同月比百三十三點減六百七十圓増であつた。之は重課税品と重目物生産に依る。

上田警察署長交遊 九月七日日本警察官空前の廣範圍に亘る大移動が發せられたが右移動に於て上田警察署長地方警視加々美輝氏は勇退し後任は上諏訪署長警部廣瀬淳氏が警視に昇格榮轉と決定した。

上田高女同窓會館着工 上田高等女學校では同窓會館を建設する事となり九月九日起工式を行つたが工費一万三千四百餘圓で十二月十七日竣工の豫定である。

この會館は故八木校長時代、明治廿五年第九回卒業生の發起にかゝり三千四百餘名の同窓生の力で一萬五千餘圓の寄附を得廿六年目に實現する譯である。

設計内容は十五間に八間の和洋折衷二階建木造で總坪は二百七十餘坪、二階大廣間は同窓生の總會、音樂會、學校講堂に充て階下には教會室、事務室、應接室、娛樂室、圖書室と日本間六十餘敷の大廣間等あり同窓生の宿泊設備も完備した愛のホームである。

立川機夜間演習 立川飛行第五隊隊九一式戦闘機五機は荒時大尉指揮の下に九月十日立川飛行場に飛來、原田少佐指揮の下に自動車サイドカー八臺で來た地上勤務員共九十名が北軍となり甲府飛行場を南軍として猛烈なる防空演習を舉行、同夜は午前一時迄演習を行ひ飛行場附近に露營、十一日も演習を續行同夜は別所泊り十二日午前七時四十分歸還した。

上田の大雷雨 九月十三日午後四時半頃上田市一町と小縣の一部を猛烈なる大雷雨が襲ひ六時十五分迄約二時間近くに亘り雨量は實に坪當り一石六升七合(蠶試上田支場調査)に達し各地に水害を惹起更に五時四十分頃から數分に渡つて小豆大乃至一錢鋼貨大の降雹あり、落雷は市内十數箇所あつた。

### 鐘紡上田工場地鎮祭と建築工事開始

上田市民が待望した鐘紡上田工場地鎮祭は九月廿一日午前十時半から現場で鐘紡社長代理永井工務課長、菅澤前代議士外有力者百八十餘名參列して行ひ市では花火を擧げて祝願し尚公會堂で祝宴を開き鐘紡より市長以下功勞者五十一氏に記念品及感謝狀を贈つたが席上永井工務課長より上田工場に就て

上田工場は第一期工事として一万坪の工場を建築ステールフレームに依る紡績から織物及び絹織下、絹物等全國でも最も尖端的織維工業に依る工場とし漸次を擴張する。

旨發表し地元民を喜ばせた。然して廿六日より人夫四千人に依り工場本館(百八間に四十六間)の土台工事を開始した。

秋の各種競技會 秋は運動シーズンである。毎日晴に各種運動大會が行はれてゐる。その主なるものを拾つて見ると次の如くである。

先づ九月六日十三日の兩日上小教育會主催第十五回上小學校野球大會が市營本校、北校、中學の四個所で行はれ廿三校參加し上田校が優勝した。尚六日は上小學校女子野球大會が本校、實女、中學、市營、西校の五コートに開催され廿一校參加、優勝は本校對泉田にて薄暮迫りドロンゲームとなり兩校優勝と決定した。

北信中等學校水上競技聯盟主催北信中等學校水上競技大會は九月十三日上中プールに舉行、六校參加野中優勝上中三位となつた。

第一回北信中等學校陸上競技大會は九月二十日市營グラウンドに舉行、十校參加長前優勝した。同日及廿三日の兩日上中主催第二回市營官公營式野球大會が市營球場及本校に舉行され九チーム參加、昨年の覇者専交クラブ(母校備人を以つて組織する)は一回戦に遊工に敗れ温電優勝した。又二十日には上田体育協會主催第九回縣下軟式蹴球大會が上田市營コートで開催され七十六組參加の爲め四回戦で打ち切り二十組勝残り日を改めて試合する事となつた。

廿三日は第十六回北信實業中等學校陸上競技大會が市營グラウンドで開催され十一校參加、合計採點は行はなかつたが水上内農が斷然優勢であつた。廿八日は北信女子中等學校陸上大會が市營、上田高女等に舉行され八高女二賞

### 女參加庭球は上田實女、排球卓球は上田高女、籠球は長野高女、弓道は屋代高女が優勝した。

和崎紅葉割引 東京鐵道局では秋色探勝旅客の便を圖り九月廿一日より十一月二十日迄十コースを選ばし運賃二割引を行ふがその内和崎は東京市省線電車環狀線各線より往復六回でコースは左の如くである。

生島足島神社寺券加入 ジャパン、ツリーストビーローが新事業として一般旅行者の爲めに全國有力神社寺院の特別參拜並に拜觀の便宜を計る社券發行に關し小縣郡西鹽田村國幣中社生島足島神社の加入確定し正式契約調印がなされた。

上田市歌募集 上田市では高らかに我等の郷土を歌ひ其の力強い躍進を期する爲め市歌を懸賞募集する事を九月十四日發表したが歌調は隨意とするも一番より四番とし一番は之のみを單唱し得る様總括的に市を表現させる事とし賞金は一等一人百圓、二等一人三十圓、三等一人十圓、佳作五人五圓宛とし締切は十二月末日迄、送先は市役所歌募集係宛、歌詞は半紙列半紙又は罫紙にインキ又は墨を以つて明瞭に記載し住所氏名は歌詞記載の紙に記入せず別紙に記載するとの事である。

小學校が經營する農事試驗場 浦里小學校では村費六千圓の支出を得て附近土地三千坪を購入、此の中へ桑園水田野菜畑は勿論凡ゆる農作試驗地を區劃、更に收納倉堆肥場畜舎下肥タンク等一千圓を投じて建築開始した。之れは更生模範村浦里村が小學兒童の魂に確たる合理立体的農業經營を植付け農村教育の徹底を計らんとする郡下最初の規模な試みである。尙來春には右實習地を更に一千五百坪擴張すると同時に實習地内に小學校全教員の住宅を建築すべき計畫で完成の上は凡ゆる近代科學的農業經營法を取入れた小學校實習地は浦里村農事試驗場とも云ふべき恒久的施設たらしめんとするものである。

菅平にスキー學校 縣では菅平青年講習所にスキー學校を併置するため八千圓を投じて管改築を開始した。十月末迄に竣工十二月一日から明春四月迄の五ヶ月

間スキー學校を開校初等、中等、高等に分け初等科に主力を注ぎ十日乃至二十日を修業期間とする事になつた。教師は縣下有カスキーヤーを招聘するが一時収容力二百名である。

### 秋のハイキング

九月十月はハイキング月とあつて上田温電營業課では總動員でハイキング行事を遂行する事となり左の如く指定引コース及ハイキング行事を決定した。

指定引コース  
一、夫神岳廻り 上田一別所 青木一上田、割引賞金五十四圓  
二、澤山峽を探る 上田一別所 新町一上田、割引賞金四十八圓  
三、修那嶺山登り A、上田一當郷 青木一上田、割引賞金四十九圓 B、上田一上室賀 青木一上田、割引賞金五十四圓

鳥帽子岳登り(眞田氏史蹟巡り) 上田一本原 眞田一上田、割引賞金五十一圓  
五、上信高原を行く 上田一菅平口 眞田一上田、割引賞金七十一圓

秋のドライブコース 秋深まると共にドライブの季節となつたので上田温電自動車部では左のコースを一般に宣傳してゐる。  
△善光寺八幡參拜戸倉廻遊 上田一篠ノ井一善光寺一八幡一戸倉一上田、八八軒運賃十三圓一十五圓  
△草津遊覽 上田一鳥居峠一新鹿澤一三三圓一十五圓  
△淺間山麓廻り 上田一鳥居峠一新鹿澤一草津一鬼押出一香掛一上田、又は反對コース一三四、一軒十六圓  
△南北信州廻遊 上田一青木一松本一鹽尻一上諏訪一和田一丸一上田又は反對コース、一六〇軒十五圓  
△上林温泉地獄谷觀風 上田一長野一上林一須坂一松代一嵐代一上田、一六〇軒十三圓一十五圓  
△戸隠山參拜と觀風 上田一長野一戸隠一長野一上田、一三〇軒十三圓、上田一長野一戸隠一野尻湖一上田、一七〇軒十五圓  
△關流山と内山峽の觀風 上田一小縣一岩村田一關流山一内山峽一三三圓  
△輕井澤峠野神神社參拜と星野温泉 上田一輕井澤一峠町一香掛一星野一香掛一上田一十二圓

母校ニユース

西川晋氏の新任 曩に滿鐵熊岳農事試験場に榮轉せられし西川晋氏(蠶十九)の後任として養蠶科同部部員に西川晋氏(蠶廿三)が八月十八日附を以て勤務せらるゝ事となつた。

農蠶實業専門學校庶務主任事務協議會 九月九日十日兩日母校講堂に於て第四回農蠶實業専門學校庶務主任事務協議會が開催された。出席者は左の十四氏で、文部省秘書課 久保田哲次、同 學務局 宮坂 義雄、同 文書課 伊藤 武雄、盛岡高等農林學校 千葉 常樹、鹿兒島高等農林學校(欠) 上原 清、東京高等蠶絲學校 中野 信正、京都高等蠶絲學校 柴田 武夫、鳥取高等農林學校 加藤 勝藏、三重高等農林學校 笠原清太郎、宇都宮高等農林學校 石原 喜一、岐阜高等農林學校 舟木衛之助、千葉高等農林學校 平野大三郎、東京高等農林學校 深澤 重六、函館高等水産學校 坂本 公雄、上田蠶絲専門學校 依田 啓藏、九日は午前中協議會午後は長野善光寺、商品陳列館、姨捨山視察、上山田温泉清風園にて懇親會、別所温泉宿泊、十日午前協議會にて終了した。

二學期開始 二學期は九月十一日授業時間割發表、十二日一時間目始業式、校長訓示、二時間目は校長以下職員、備人生徒總出場て校庭除草を行ひ三時間より授業が開始された。

征矢克郎(蠶廿一)副田好美(蠶廿一)兩氏の新任 兩氏共製絲科に副手として勤務される事になつた。副田氏は入管前母校化學教室に勤務しておられたが去る一月除隊され再び母校に來られる事になつた譯である。

高橋眞澄氏の圖書課入り 紡織科人稱部に御研究中なりし高橋眞澄氏(勤七)は九月十六日附を以て圖書課勤務を命ぜられ同課に勤務せらるゝ事となつた。

正副總代任命 第二學期の總代及副總代は九月十七日附を以て左の如く任命された。

- 正總代 望月 藤夫 多田 忠正、若林 康弘 市原 政治、蠶一 長澤 方夫 齋藤 重利、蠶二 吉川 啓人 西原 美登、蠶三 南木 嘉一 佐藤 忠富、糸一 柳澤 勝 矢澤 登、糸二 柳澤 正信 福永 雄三、糸三 柳澤 正信 吉田 耕三、紡一 柳澤 正信 飯森としゑ、紡二 柳澤 正信 飯森としゑ、紡三 柳澤 正信 飯森としゑ、教一 中村 泰子 中澤 澄子、教二 中村 泰子 中澤 澄子、教三 中村 泰子 中澤 澄子、滿洲事變五周年講話 九月十九日は滿洲事變五周年記念日に相當するの午後一時から二時間間に亘り配屬將校各中佐より滿洲事變に就て講話があつた。

帝大講師史料編纂會 文部 渡邊世祐氏、談話會例會 本學期中の談話會幹事は養蠶官坂、製絲野野、紡織小林の三氏が擔當する事となり其第一回(第九十九回)を去る二十五日開催した。演題並講師左の如し。

飯田重雄氏(勤十四)新任 岡氏は母校卒業後一度工場に勤務せられしが病を得られ故郷にて療養中の處殆んど快復せられたので圖書課に轉せられし高橋眞澄氏の後任として紡織科人稱部に副手として九月廿六日より勤務せらるゝ事となつた。

教導養成科一年生の見學 製絲教諭養成科一年生十七名は志田講師に引率され九月廿九日市内常田館製絲場、三十日田中製絲株式會社を見學した。

家蠶血組織の發生並に機能に關する研究梗概

醫學博士 蒲生俊興

一、血組織の呼稱 ワイズマン氏(一八六四)が家蠶の幼蟲で、花彩狀細胞帯を發見して記載されてから、多くの昆蟲學者の研究の餘光が、その細胞帯に向けられ、従つてあらゆる昆蟲各目に就て、その細胞の形態機能が研究せられた。例へばウイロウイニスキ(一八八六)は之を血組織、ブルツ(一九〇四)はネフロサイト、コワレウス(一八八九)は酸性腎又は著積腎、ザエルソン(一九一一)は固心臓及び周氣管、エヒュリアン(一九二四)はアスロサイトとして命名記載された。余が家蠶に就て研究した組織も勿論上記のものと同小異であるが、特に之を血組織と呼び更に之を哺乳動物に就て對照して見ると、醫學上八釜しい組織球性細胞や、網狀内皮組織といふ組織と極めて相似の點が見出され、

二、血組織の構造及び分布 家蠶の血組織は背氣管の内外周囲と筋狀筋に附着して存在する固心組織と、縱走主氣管の附近に存在する周氣管組織との二種に區別せられ、何れも胚子の中胚葉起源の組織であるが、その構造や分布上兩者には可成の相違がある。

(イ)胚子の發生 胚子の食道下体から分化して周氣管組織が生成されることは櫻井教授が指摘された通りであるが、著者の觀察では胚子時代には固心組織は全く見出すことが出来なかつた。

(ロ)後胎的發生 周氣管組織が孵化二、三日前から分化を開始するに對し、固心組織は第二眠以後の冬眠毎に背氣管の心原細胞の原始核から、又扇狀細胞から第一齡盛蠶當時から生成分化される。

三、血組織の機能 (イ)血組織の淨化作用、(ロ)血組織の電氣作用、(ハ)血組織の浸透作用、(ニ)血組織の呼吸作用、(ヘ)血組織の果して排泄作用を仲介するか。

從來多くの學者の報告せる處によると固心細胞はマルピギ氏管と共同作業に於て排泄作用を仲介する如く考へられてゐるが、余の觀察によると(1)食物中の養分の多少によつて細胞内代謝顆粒に多少の差を生ずること、(2)蛹の末期呼吸作用を増大するにも不消細胞内代謝顆粒は却つて減少すること、(3)食桑中一度絶食するに及ぶと、又は眠期等に於て細胞内の顆粒は直ちに消失すること、(4)昆蟲の榮養細胞たる脂肪細胞中の蛋白質顆粒の消失と密接な關係がある事、等によつて、本組織の代謝機能を直ちに排泄作用を仲介するものと判断し難いばかりでなく、寧ろ體内に於ける蛋白質養分物質の分解率を高め、深い關係を有するものと考へる方が妥當と思はれる。

(ロ)固心細胞と周氣管細胞との比較 から發達して、既に胚子の食道下細胞塊するに對し、固心細胞は漸く第一、二眠頃から分化發生を見て徐ろに活動を起す。従つて周氣管細胞は早く成長の極度に對し、蛹期間には著しく解離作用を受けて其の数を減するが、固心細胞は蛹期間に於て却つて其の数を増加するやうである。されど兩細胞共、中胚葉系の組織で、其の大きいさは殆んど同様な機能を示すことは明かである。

以上は近頃發行された上田蠶絲専門學校學術報告第二卷第一號中に記載された余の論文の梗概を摘録したものであるが、余の論文には餘りに興味乾燥に過ぎ、幸に之等を徹底しないことが心配である。幸に之等の點を諒とせられて御列讀を乞ふ次第である。(昭和十一年九月)

母 校 職 員

(昭和十一年九月三十日附)

Table listing school staff including positions like 校長 (Principal), 教務課長 (Academic Affairs), 製絲課長 (Silk Reeling), and various teachers with their names and ranks.

Table listing staff with their names and ranks, including 針塚長太郎, 井上柳梧, 和田仙太郎, etc.

Table listing staff with their names and ranks, including 志野誠一, 小川清, 宮林清, etc.

Table listing staff with their names and ranks, including 志野誠一, 小川清, 宮林清, etc.



校友會ニュース

巡迴講演 辯論部では九月二日より六日迄左の如く巡迴講演を行った。各地到る處同窓諸兄の御懇情を蒙り深謝致しま

一、講演日程
九月三日午後一時 須賀川町岩瀬農学校
九月四日午後一時 福島市外福島蠶業農学校
九月五日午後一時 昭榮製絲福島工場
九月五日午後六時 原ノ町相馬農学校
九月五日午後六時半 平町片倉製絲磐城工場

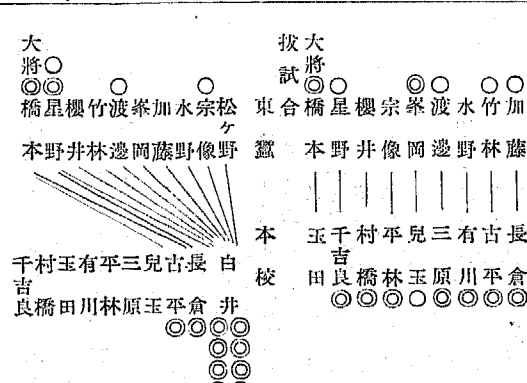
一、講演題目
(1) 學校にて
日本文化の一考察 糸二 宮田 修
紡績絹絲に就て 糸三 小林龍太
農村と産業組合 糸三 加藤沼二
アロツク經濟と我國との關係 糸三 岩崎正典
暗黒と光明 糸二 望月藤夫
自然は教ふ 部員 金子先生
(2) 工場にて
本當の幸福 糸二 小林龍太
労働 糸三 加藤沼二
土の力と人の力 糸三 岩崎正典
夜の世界を眺めて 糸三 望月藤夫
日本女性と母性愛 部員 金子先生
仕事の中に光あり 部員 金子先生
庭球部東京高蠶に遠征し惜敗 庭球部
は九月五日清水部長に引卒され東京高蠶に遠征左記戦績を以て惜敗した。

岸本 岩澤二 四外城 伊比
米川 重野四 二長谷川 飯田
米川 重野四 二長谷川 飯田
引地 小栗三 四佐藤 南木
高野 大野四 一鷹取 宇田
沼尻 有泉一 四兒玉 叶澤
米川 重野四 二兒玉 叶澤
高野 大野四 二兒玉 叶澤
弓道部東京高蠶に勝つ 弓道部は九月五日小諸懐古園弓道場に合宿練習中の東京高等師範學校弓道部を上田公園道場に迎へ左の成績にて快勝した。(射數二十射)

中島 十二中 馬場 十三中
計 五十七中 計 六十三中
卓球部山梨高工に快勝 本年より新設の卓球部は九月十日山梨高工に遠征左の成績にて快勝す。

剣道部東京高蠶に大勝 昨年は東京高蠶遠征借敗せる母校剣道部は本年は東京高蠶道場に迎へ九月十三日午前九時半より伊藤教士審判の下に試合を行ひ左の如く個人試合は八對二、抜試合は三人にて全試合に於ける先鋒白井君の八人を抜いた。抜個人試合
功は偉とせねばならぬ。

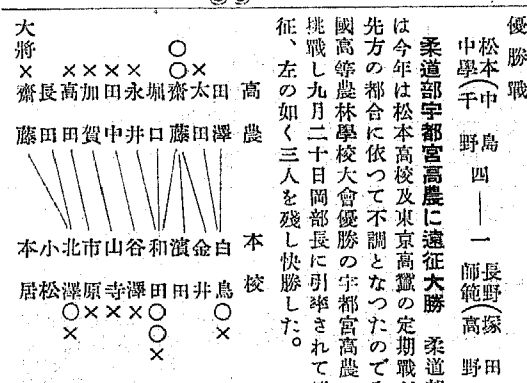
Table with columns for school names and scores. Includes schools like 深田, 戸島, 坪伏, 皆見, 鶴田, 永本, 本取, 戸島, 深田, 坪伏, 皆見, 鶴田, 永本, 本取.



弓道部東京高蠶に破る 弓道部は九月十三日東京高蠶道場に於て定期戦を行ひ左の戦績にて破る。(射數二十射)

縣下中等學校庭球大會 恒例の庭球部主催第七回縣下中等學校庭球大會は九月十三日午前八時より母校コートに於て舉行された。参加は松本商業、岩村田中學、長野商業、上田中學、長野中學、松代商業、小縣蠶業、野澤中學、松本中學、丸子農商、小諸商業、長野工業、松本二中、北佐久農飯山中學、長野商業、伊那中學、須坂中學の十八校、七十三組に達した。この日秋晴れの無風、加ふに前日の夕立にコートは絶好のコンディションであつたが優勝戦の頃になり夕立模様となり試合一時中止小止りとなつた故再開、優勝戦は松中對長部にて昨年の覇者松中中島、千野組優秀し優勝旗及び市長杯を獲得した。時に五時半。優勝戦終るや猛烈なる雨となつたが幸うじて大會を終了し得た事は幸ひであつた。準優勝戦以後の戦績は左の如し。

松本中學 野田 〇 長野宮尾
中學 千野 四 〇 商業吉田
長野中學 野田 四 〇 商業一條
師範中學 野田 四 〇 商業一條
優勝戦
松本中學 野田 四 〇 長野宮尾
中學 千野 四 〇 商業吉田
師範中學 野田 四 〇 商業一條
優勝戦
松本中學 野田 四 〇 長野宮尾
中學 千野 四 〇 商業吉田
師範中學 野田 四 〇 商業一條



弓道部松高に破る 弓道部は九月二十日松本高蠶道場に於て定期戦を行ひ左の成績を以て惜敗す。(射數二十射)

Table with columns for school names and scores. Includes schools like 松本高蠶, 上田蠶草, 松田, 和田, 小口, 小島, 三田, 太田, 小松, 和田, 小口, 小島, 三田, 太田, 小松.

Table with columns for school names and scores. Includes schools like 松高, 松本, 松高, 松本, 松高, 松本, 松高, 松本, 松高, 松本.

競技部東京高蠶に遠征大勝 競技部一行十五名は九月廿三日東京高蠶に遠征し同校グラウンドに於ける對抗戦技に於て四十五對三十にて大勝した。戦績左の如し
△百米(東4上) 1.小林(重)(東) 十二秒二
△二百米(東4上) 1.小林(重) 廿五秒二

2.望月(上) 3.前川(東)
△四百米(東2上) 1.望月(上) 五十八秒八
△八百米(東5上) 1.伊藤(東) 二分廿一秒二
△千五百米(東3上) 1.伊藤(東) 四分五十七秒三
△八百米(東5上) 1.望月(上) 五十八秒八
△千五百米(東3上) 1.伊藤(東) 四分五十七秒三

野外教練 九月三十日より十月三日迄四日間に亘り丸子、西内、青木方面に全生徒の野外教練を行ったが、職員も参加は指揮官谷中佐、石井中尉の校長、井上、石倉、岡、佐藤(春)、内田、廣川山口、鷹野、清水(運)、湯原、宮原の諸先生及諸氏であつた。日程左の如し。

第一日目 九月三十日午前九時學校出發途中蘆川村藤原田附近に遭巡戦を行ひ、丸子農商學校に至り小憩、夕食後長瀬、丸子附近に於て夜間演習をなし十一時演習終了、校長先生初め諸先生並に卒業生諸氏の多大なる御配慮に依り同校に宿營す。

第二日目 午前八時半出發、直ちに情況に入る、内村川の溪谷を遊撃戰闘をなしつゝ、鐵泉寺に到り一泊す。
第三日目 雲低く垂れし山の温泉を早朝出發、雨を衝いて大明神嶽を突破、香掛を経て田澤温泉に武裝を解く。
第四日目 再び雨を冒して宿舎を出發降りしける雨の中に浦里村大法寺山麓に於て猛烈なる攻防戦を行ひ最後の演習を終る。車軸を流す雨を衝いて勇躍歸途に就く。途中東田小學にて晝食、湯茶の接待を受け午後二時半歸校す。



早川先生記念品贈呈資金募集

拜啓 時下愈御清適之段奉慶候... 早川先生は母校創立日尙淺き大正元年九月御就任以... 來實に二十有餘年の久しきに亘り内に於ては母校の爲め將又子弟教養... の爲めに全力を傾けて御盡瘁下され、出ては著書に研究發表に或は教... 化に斯界の爲め裨益せられしご洵に大なるもの有之吾々會員一同... 感謝に不堪所に御座候... 然るに先般郷黨官民の懇望黙し難く推されて産業組合群馬社々長に御... 榮轉せられ、既に新任地へ御赴任被遊候... 就ては此の際先生の御功績を讃え且多年の勞に酬いん爲め資金を募集... し記念品を贈呈致し御感謝の微意を捧げ度く候間左記要項御諒相... 成御賛同の上御醸金被成下度此段御依頼芳々得貴意候 敬具

募集要項

- 一、出金額 御隨意
二、申込期限 本年十月末日迄
三、送金先 上田蠶絲専門學校内 蒲生 俊興宛
便宜上千曲會の振替用紙(農野六貳四番)同封致し
置候間御利用相成度尙一早川先生記念品贈呈資金」な
る旨御明記願上候
四、贈呈式 千曲時報に掲載し受領證に代ふ
五、記念品の選定等は發起人に御一任相成度
昭和十一年八月

- 發起人
順番十五 飯島正胤 猪坂直一 萩原清治 川船卓爾
永藤山清和 窪田圭二 中澤美徳 小澤勝也
松村季美 山野須田 山口定次郎 林貞三 平澤勝也

第十回代議員會開會通知

來る十一月二十二日午前九時より母校講堂に於て第十回代議員會を開會致します。支會長各位には管内代議員に御出席下さる様御配慮願ひ申上げます。而て御參會下さる各位の御氏名本會迄御通知下さい。 千曲會

蠶絲學雜誌編輯子より御願ひ

蠶絲學雜誌九ノ一は多數寄稿者の御好意により百餘頁のものとなり近日御手許へ御送りする筈です。そこで續いて九ノ二を直ちに編輯を初めたいと思ひます。何とぞ多數御投稿下さる様希望します。今固から編輯委員制度となり編輯は色々都合です。尙從來の傾向として、生絲紡績に關する論文が何とも物足りなやうです。尙從來の傾向として、生絲紡績に關する論文が何とも物足りな権威を保持する爲め各位の御投稿を編輯子は切に希望してやみません。尙從來の經營上の缺陷を補ふ爲め、近将来に於て値上げになるかも知れませぬが、抑從來の購讀料が他の雜誌の三分の一にも當らない位のもので低廉に過ぎざるのすから、今後は科學の對して理解ある會員諸君、殊に新進の卒業生諸君に於て未だ雜誌を手にとせざる様御努力を御願ひいたします。(蠶絲學雜誌編輯室より)

講演集に就き急告

蠶絲學雜誌により刊行致しました母校二十五周年記念日本蠶絲學會及纖維工業學會學術講演集は既に全豫約者にて配布された筈でありまして、其の代金は直ちに本會宛送附下さる様御願ひしてあります。未だ豫約者中に代金未拂の方は本會員として右代金拂込御失念の方は即刻日本蠶絲學會講演集は金廿五錢纖維工業學會講演集は金二十錢を上田蠶絲専門學校千曲會振替口座(野六廿四三番)へ御拂込下さる様御願ひ致します。(講演會係)

本會記事

本會日誌
九月十六日 九州蠶種會社在勤の田口恒夫氏(蠶二十)逝去せらる。夫々關係方面(形意)を表す。

會費領收

- 昭和十一年度會費領收(十月五日現在)
○印は蠶絲學雜誌代共
○森本爲之助(蠶七) 日野 光平(蠶八)
○勸使河原保(蠶八) 四方 定雄(蠶九)
○金子 幸一(蠶七) 樋村 忠義(蠶九)
○飯塚 安治(蠶七) 宮崎 俊雄(蠶七)
○竹内 直人(蠶六) 細川 豊(蠶九)
○戸部 正久(蠶九) 山浦 達郎(蠶九)
○濱井 成一(蠶七) 伊藤 幸男(蠶七)
○半田 義雄(蠶七) 伊藤 正雄(蠶七)
○坂口 恒三(蠶七) 關 博夫(蠶七)
○山岸 正雄(蠶七) 若林 一郎(蠶七)
○山野 辰男(蠶七) 木藤 富士雄(蠶七)
○福島 治郎(蠶七) 松井 盛三(蠶七)
○高松 辰男(蠶七) 大岩 盛三(蠶七)
○一之瀬 茂(蠶七) 今村 盛治(蠶七)
○土屋 洋介(蠶七) 湯原 淳(蠶七)
○未納會費納入者
○金八圓也 原 英三(蠶六)
○入會金完納者 清水 傳(蠶七)
○蠶絲學雜誌代納者 唐澤 正平(蠶二)

叙任辭令

- 母校之部
九月八日 從五位 内田 浩
敘勲六等授瑞寶章
九月十五日 從五位 征矢 克郎
副手ヲ命ス 製絲實習室勤務ヲ命ス
九月十六日 副手 好美
副手ヲ命ス 製絲實習室勤務ヲ命ス
九月十六日 臨時副手 高橋 眞澄
九月十六日 圖書課勤務ヲ命ス
九月二十六日 履ヲ命ス 圖書課勤務ヲ命ス
臨時副手ヲ命ス 絹紡織科勤務ヲ命ス
卒業生之部
公立實業學校校長 小野 正男
公立實業學校教諭 原田 兵衛
公立實業學校教諭 岩本 市郎
公立實業學校校長 從六位 原田 兵衛
公立實業學校教諭 從六位 岩本 市郎
公立實業學校校長 從六位 岩本 市郎
公立實業學校教諭 從六位 岩本 市郎
公立實業學校校長 從六位 岩本 市郎
公立實業學校教諭 從六位 岩本 市郎

早川先生記念品贈呈資金申込第三回

- 金五圓也 林 清市
金參圓也 吉野 健吉 宮田鐵五郎 林部源三郎
吉野 克巳 唐澤 正平 湯川 秀夫
小見 益男 濱井 壽夫 中田 太郎
鈴木 教吾 遠藤 文平 山岸 松次
金貳圓也 小宮山太助 多勢 龜次 氏家 康次
田附 一郎 堀 忠太郎 有賀 榮輝
若林 清 杉山 一雄 矢野 榮輝
馬場 武 關 九平 小澄 榮輝
小島 節 三橋 九平 小澄 榮輝
廣田 節次 塚田 勝夫 橋本 誠
齋藤 格次 廣田 勝夫 橋本 誠
勝又 勝夫 廣田 勝夫 橋本 誠
金壹圓也 山岸 寅雄 田上 忠義
竹内 虎夫 吉田 信三 清水 英一
大石 唯男 田村 三郎 北澤 辰郎
瀧澤 啓四郎 高島 秀男 原内 直人
笠島 治郎 鈴木 重男 市川 龍哉
伴野 徳夫 小川 茂治 牧島 章吾
中島 眞 小笠原 重三 宮本 清三
古川 正喜 長谷川 恒藏 松野 三郎
北澤 周一 井口 澄男 宮下 文四郎
北澤 孝一 石井 公男 宮下 文四郎
山口 貞周 渡邊 康平 川村 忠義
森田 朝之助 上田 岩男 川村 忠義
的場 朝六 陶山 良信 吉松 千秋
菅尾 源治 太田 辰三 倉元 隆太
一之瀬 茂 三本 孝三 新井 宇之輔
森本爲之助 折茂 五太郎 戸部 正久
金五拾錢 坂入 長治
右合計金壹百四拾九圓也
累計金參百五拾壹圓參拾錢也

支會通信

製絲科三年の神戸生絲検査所實習便り
名は大丸食堂に於て盛大なる歓迎會を受けた。沖會長の開會の辭、叶澤君の挨拶ありて宴會に入つた。官界民間の大先輩を始めてとして多数の御先輩御出席の爲め色々と教訓やら御指導を承り學生一同は極めて楽しい有意義なる會であつた。甚だ失禮乍ら紙上を通じ兵隊中檢査所の母校先輩と野球試合を舉行した。クラスマッチの覇者製絲三年も強豪先輩軍に苦戦し特に國崎投手の柔軟なピッチングに苦戦し、川村等の強打者連々と凡打ちに劈頭より先輩軍にリードされたが後半戦學生軍の打撃奮ひ遂に十四對十二で學生軍は凱歌を擧げた。(絲三學生記)

倉澤先生を御迎して

上用過ぎの八月末としては馬鹿暑い廿三日山形の地に懐しい先生の御姿を御迎へした。先生には東北蠶絲業御視察途上御立寄を御願ひいたし炎暑長途の處、餘りにも御氣の毒だつたが何物にも代へ難い吾等の喜びと何よりの効果百パーセントな注射薬だつた。幸に日曜である。でも目下初秋蠶繭入荷時だ。然し長途の御疲れを慰める何物かと仙臺園上山町月岡ホテルに心許りの粗宴を催し先生から種々中央の情勢やら御拜聴任り何よりも幸ひであつた。前の様な事情で集り、都合に少かつたが幸ひ定数に充ちたので第十回山形千曲會總會も兼ねて開催し思ひの珍物やら珍話に心から開け、吾等の世界の氣分が旺盛し酒宴酣の頃、先生には御都合上是非共秋山迄御越しとあられなく乾盃して、各々別働隊の進行行動に奮進した事と思ふ?記念寫眞も上山町の住人日氏(同窓)の實力に御願ひして待つてゐるが弘法にも筆の誤と本誌上に添へ得ざるを残念に思ふ。尙當日參集の方々の寄書を左に添へる。(十月二日生筆)



計報

御逝去通知

田口恒夫氏(蠶二〇) 九月十一日逝去 御遺族、徳島縣美馬郡里村 殿父 田口 又七

弔慰金募集

本會々員 故喜多尾猪門氏(絲三) 全 故田口 恒夫氏(絲二〇) 右兩氏に對する弔慰金を募集致し...

弔慰金報告

- 故權九氏弔慰金第六回 金壹圓也 堀 忠太郎 湯澤 重敬 右合計金貳圓也...

河合 器藥品 舖 電話二七番 振替長野七四番

會員動靜 (十月六日現在)

- 平本常三郎(蠶一) (住)名古屋市中區錦屋町一ノ四一 勤)山形市山形縣蠶絲課 森本爲之助(蠶一七) (勤)上伊那郡伊那町長野縣蠶業取締所伊那支所...

千曲會々員名簿發行に就き急告

前月號にも一寸書いて置きました通り昭和十一年度の千曲會々員名簿は来る十一月一日現在にて發行の豫定であります...

住所不明者

- 左記會員は現住所不明となつて居ります。名簿調製の必要上勤務先でも住所でも御存知の方は御知らせ下さい...

編輯室より

△本紙も今月から證據金を納めて一人前の新聞紙と云ふ事になつた。今迄ビクビク物で書いてゐた時事問題も之からは大ビラに書ける譯だ。然しそれだけ編輯者の責任は重くなり仕事が多くなつて来た...

投稿規定

- 一、内容は不問、平易なる學術研究、會員消息に關する物は特に歓迎。取捨は當方に一任せられたい。編輯の都合に依り全部又は一部來月廻しとなる事がある。

新任御挨拶

秋冷之候各位益々御健勝之段奉賀候。陳者小生等今回御蔭にて母校製絲部副手として勤務致す事に相成候...

征矢 克郎(絲六) 副田 好美(絲六)

新任御挨拶

秋冷之候各位益々御健勝之段奉賀候。陳者今回小生お蔭を以つて母校養蠶科副手として勤務致す事と相成候...

昭和十一年度製造原蠶種

- 國蠶日 八號 國蠶日 十九號 佛 純 白 繭 分 離 白 一 號 國蠶日 十六號 國蠶日 十六號...